

保護者の方へ…どうぞ、お子さんに本を読んであげてください。子どもたちは、読んでくれる人の愛情と一緒にお話の中に入っている、物語を楽しむ力を養っています。そして、この時間は、生涯にわたって、子どもたちの心を温め続けてくれることでしょう。

藤田 千枝〳〵原案 川島 敏生〳〵写真
長谷川 摂子〳〵文 福音館書店

『まほうのコップ』



「たねもしかけもありません。ただのコップにただのみず。」でも、水を注いだコップから見ると・・・あら不思議、なんでも歪んで見えます！

1歳から
読んでみると、楽しい世界が広がります。

カラフルな絵と、「もこ」「にょき」と

谷川 俊太郎〳〵作 元永 定正〳〵絵

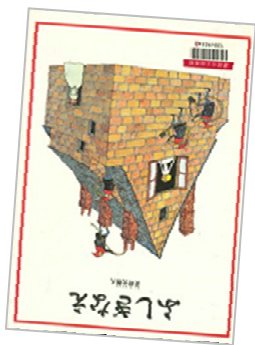
『もこもこ』



豊岡市立図書館

文字のない、だまし絵絵本です。
安野光雅さんの繊細なタッチで描かれています。

安野 光雅〳〵さく
福音館書店



『ふしぎなえ』

【幼児】
ようこそ
ふしぎなせかいへ
～チーク別ブックリスト～

(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

むかし むかし・・・

貧乏なおばあさんが黒い大きな壺を拾います。ふたを開けてみてびっくり、中には金貨がぎっしり！
帰り道、金貨は銀や鉄に変わってしましますが、元気で陽気なおばあさんは、何が起きても大喜び。

4歳から
瀬田 貞二〳〵再話
和田 義三〳〵画
福音館書店



『いたずらおばけ - イギリス民話 -』

おじいさんが森の中に落として行った片方だけの手袋。その手袋にどんどん動物が住み始めます。手袋は、はち切れそうにふくらんで…。

3歳から

『てぶくろ - ウクライナ民話 -』

エウゲーニー・M・ラチョフ〳〵え
うちだ りさこ〳〵やく



『だいくとおにろく』

松居 直〳〵再話
赤羽 末吉〳〵画
福音館書店



何度橋を架けても流されてしまう大きな川に、新たに橋を架けることになった大工。そこへ、川から出てきた鬼がある取引を持ち掛けます。

4歳から

『ふしぎなたけのこ』

松野 正子〳〵さく
せがわ やすお〳〵え
福音館書店



たろは、裏の竹藪にたけのこを掘りに行きました。ところが、たろが上着を引っ掛けたたけのこがいきなりぐんぐん伸び始め、飛びついたたろも、そのまま空へ！

4歳から

わくわく・ドキドキ

かんだが、お宮でデタラメな歌を唱えると、穴の中から奇妙な声が聞こえてきました。穴を覗いたら、吸い込まれるように落っこちて、かんだは、おかしな3人のおばけと遊ぶことに…。

3歳から

ある朝、しげるは、なんにでも「いやいや」を言い出しました。そこで、いやなことは何もしなくていいという、「いやいやえん」へ行くことになりましたが…。楽しいお話が7つ入った物語集。

4歳から



『いやいやえん』

中川 李枝子〳〵さく
大村 百合子〳〵え

ある晩、マックスは大暴れ。怒ったお母さんに「タゴ飯抜き！」と寝室に放り込まれてしまいます。すると寝室に木が生えはじめ、あたりは森や野原に。そこへ、波が打ち寄せて、舟に乗って行きついたのは、かいじゅうたちのいるところ。

3歳から

『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック〳〵さく じんぐうてるお〳〵やく
江口 絵理〳〵ぶん ほるぷ出版



『100まんびきのねこ』

ワンダ・ガアグ〳〵ぶん・え
いしい ももこ〳〵やく

おばあさんのために、猫を探しに出掛けたおじいさん。見つけたのはなんと、一兆匹の猫。そこで二人は、自分たちが飼う一番きれいな猫を、猫たちに決めさせることにしました。

5歳から



『ほくびきじゃないよ』
角野 栄子〳〵さく 垂石 真子〳〵え
福音館書店

『そらいろのたね』
なかかわ りえこ〳〵文
おおむら ゆりこ〳〵絵
福音館書店

4歳から
その後も、どんどん大きくなって…？
空色の家が咲きました。空色の家は水をやると、次の日には豆ぐらいの一粒のそらいろのたね。たねを植えて、ゆうじがギツネと交換したのは、

「わたし」の素敵なワンス、次はどんな模様に花畑を歩けば花模様、雨の中を歩けば氷玉模様。空から落ちてきた真っ白な布で作ったワンス。

3歳から

『わたしのワンス』
にしまさ かやこ〳〵えとぶん
こぐま社



『まあちゃんのがいかみ』
たかどの ほうこ〳〵さく
福音館書店
おかつば頭のまあちゃんは、お友達みたいに長い髪にあって、お友達のまあちゃんに、うかな。まあちゃんの夢が広がる楽しい絵本。



明日は、楽しみにしていた魚釣り。でも、ケンちゃんはよびり風邪気味です。ベッドで寝ていると、道に迷ったクマのお医者さんがやってきて、おかしなクマ式治療をしてくれました。

3歳から